



文化とは...

自然を材料として、理想を実現
 しようとする人間の活動。また、それ
 によって造られる結果のこと。

毎日が本当に速く過ぎていきました。九
 月終りの見えはじめ、季節は少しずつ秋の
 様相へと変わりつつあります。なんと早く朝夕
 ぐし暑さが和らぎました。クーラーがないと
 眠れなかった夜も随分涼しくなり、いよいよ夏
 ともサヨナラ...とはいかないようで、日中はまだま

だ暑い日が続いています。お彼岸明け迎えたにも関わらず...

それでも二数日、車窓から目にうつる景色をながめながら感じることは、"今年も
 秋がやってきたなあ"という事です。道傍に長く彼岸花の美しさに、いざその
 風景をながめる時間がありました。

曼珠沙華

(まんじゅしゃげ) といいます。秋分の日(23日)前後の
 ちょうど彼岸の時期に花を咲かせることに由来しています。
 毎年赤や白の赤い花です。

"〇〇の秋" といえど、お母さんやどんな言葉を入れたいか? "文化"の秋とか、言葉の響きとしては何となく
 地味な感じが、私的には"怒濤"の秋とか、"清熱"の秋とかの方がはるかに好きです。曼珠沙華の花や
 紅葉を見て、清熱の赤、と想像するのは私ぐらいじゃないですか。

さて、前期も残りというあと二週間です。元と変わらず、有終の美を飾りましょう!!

教えます! シーズ「学力がつかない方法」

これで、学力は確実に落ちます

No.1 学校編

(1) 先生の話、説明は聞かないようにします。どうせ先生の言うことはウソに決まっている!! と、先生の
 の話はあてにならない!! という気持ちでいることです。先生がどんなに繰返して丁寧に教えてく
 ても、「本当かな? そんなことあるぞ!」と疑いを持って聞くんです。



(2) 何の準備もせずに授業にのぞみます。先生が授業に来られ
 ても教科書を開いてはいけません。そして教科とは関係のない
 ことが考えられます。給食のこととか、次の日曜日の予定などを
 考えるんです。もちろん予習などしてはいけません。

(3) 先生にあてられないように、友だちのせいにしています。授業を
 受けません。もし運悪く先生にあてられてしまったら、仕方がないで「あや
 りません」と言います。

(4) 先生が繰り返して説明しても、「しつこいなあ」と思っているから聞き流し、マナーなどをノートに書いた人、とな
 りの人がやった答えだけをうつします。自分の力でやってはいけません。

(5) テストは点数だけを気にします。どこがわかって、どこがわかっていないなど考える必要はありません。やり
 直しをしたり、テスト問題をとっておいて、おちびを見直ししたりと、学力がつかない方法を身につけてください。

(6) 誰かが授業中に指名されたら、自分には関係ないから、耳をふさぐのはよくありません。
 人の考えほどくだらないものはありません。それよりも寝て疲れを
 とることも大切です。

〜次回「家庭編」〜